

補助金活用で未来を拓く！ 成功企業に学ぶ、投資と成長戦略

補助金申請



Contents

- ・ 寄稿 小規模事業者持続化補助金・ものづくり補助金
採択のためのポイント… 6頁
- ・ 事例① 大徳木管工業(株) …… 10頁
- ・ 事例② 中辻金型工業(株) …… 11頁
- ・ 事例③ (有)森田縫製 …… 12頁

公的資金導入支援事務所
ヒガサカナビ
代表 竹田 康雄 氏

(略 歴)

大阪府東大阪市出身。
大学では工学部電子工学を専攻。卒業後、大阪の電機メーカーに入社。

ビデオ機器の設計および商品企画を担当し、その後、黎明期であったデジタルカメラの商品企画および営業企画に携わる。現在は、公的資金導入支援事務所「ヒガサカナビ」の代表として、企業の補助金申請サポートを中心に活動している。

ホームページ：https://higasaka.com/ 又は【ヒガサカナビ】検索



■はじめに
その計画書、あと3行直せば《採
択率が倍》になるとしたら？
補助金の事業計画書は審査員への
《プレゼンテーション》です。
事業の課題と投資の必然性、そし
て数値で語る効果を一本のストー
リーにできるかが採択への鍵です。
本稿では不採択を招く3大落とし穴

寄 稿

小規模事業者持続化補助金・ものづくり補助金

採択のためのポイント

公的資金導入支援事務所ヒガサカナビ

代表 竹田 康雄 氏

と採択率を高める具体的ステップを
解説します。

(以下、ものづくり補助金Ⅱもの
補助、小規模事業者持続化補助金Ⅱ
持続化補助)

■不採択となる事業計画書 3つのポイント

まず、即不採択となる事業計画書
の典型例を見ていきます。

(1) そもそも、その補助金の目的

や要件を理解していない

補助金の趣旨と合致しない計画は
内容が優れていても要件不一致と見
なされ即不採択です。例えば、

・ もの補助は「革新的な新製品・新
サービス開発や海外需要を行う事

この続きは会員事業所
のみご覧いただけます